

ひろしま市民パブリシストによる バックステージレポート

Report



チンチン電車で巡る旧城下町「広島」

文・写真：ひろしま市民パブリシスト 有田武志

「皆様、右をご覧ください、広島城が見えてきました」

「左をご覧ください、世界遺産の原爆ドームです」

観光バスでお馴染みのシーンが、広島では市内を走るチンチン電車でも、そんな体験ができる。

11月5日、爽やかに晴れ渡った秋空の下広島城が主催した「路面電車でGO! 広島城の堀跡と新開地」の催しでも、そんな場面の連続だった。抽選で参加できた幸運な老若男女30人は、広島城のスタッフや、ボランティアガイドの案内で電車車窓からの見学が始まった。アンティークな貸し切り電車で広島駅前を出発、横川へと向かい、折り返しは現存する被爆電車に乗り換えて宇品に向かった。京都広島の路面電車が走る道路といえば、あの被爆後、近代的な街として甦った広島が目抜き通りである。そのどこに昔を偲ばせる場所があるのかと、戦中派の端くれである私の興味は駆り立てられた。ところが出発時に配布されたスタッフ心尽くしの資料によって城下町広島を思い描ける場所が、車窓から次々と確認できた。

銀山町・紙屋町界隈で電車通りと交差する旧西国街道や、武家屋敷地域から町人の住む地域へと向かう南北の道筋が、薬研堀筋、流川筋、八丁堀筋として現代も同じ位置にあること、現在の八丁堀から相生橋にかけての電車通りは、昔の広島城外堀にあたること



西国街道に架かる猿猴橋が見えま～す



今日の教室は走る電車の中です



これから暮らす広島に興味津々です



解説は電車の速さとの勝負です

など、目から鱗が落ちた心地がした。

行程最後は、御幸通り傍の「郷土資料館」での座学。NHK TV「プラタモリ」で案内役を務めたスタッフが紹介されて拍手を浴び登場。デルタの街広島の成り立ちが解説され、干拓や埋め立て工法の違いから海拔が均一でない市街地になった経緯も知った。ひと月前、横浜から転居したばかりという女性は、広島への興味が増して又参加したいと、とても満足そうだった。スタッフの皆さんの奮闘ぶりが報われた証しだと、私は吾がことのように嬉しくなった。素敵な二時間半だった。

「ひろしま市民パブリシストによるバックステージレポート」は3ヵ月毎に掲載します。



私のグルメスポット

レストランバー **OGGI** (中区三川町)

「スクリーンライブ Hiroshima 7th」(詳細→本誌P.8)の映画監督の山中富雄さん(広島を盛り上げる実行委員会 代表)おすすめのお店



●山中さんより

約2年前に音楽アーティストKOJIに紹介してもらい、それ以来よく打ち合わせを兼ねた食事会や仲間同士の集まりに利用しています。今回の最新作映画「笑うパティシエ」でもロケーション場所としてお借りしました。地ビールや焼酎、ワインとなんでも揃い、舌鼓できる料理と合わせ広島を楽しめること間違いなし！一押しのお勧めのお店です！！

●誰と訪れてもくつろげる多彩なメニューとALL個室のフロア

阪神の金本監督の店で、野球選手もよく訪れているそう。料理は和洋折衷で、1皿1,000円前後とリーズナブルながら2人で食べてちょうどいいくらいのボリューム。彩りや盛り付けにもこだわり、見て楽しく、食べて満足できるような心を尽くして作られている。カウンター席のほかは全て個室で、居心地の良さから1次会・2次会と通して過ごすグループや飲んだ後のカフェとして利用する人も。冬は個室で鍋が食べられると家族連れに喜ばれている。料理7品+飲み放題で4,000円のコースも人気。



自家製の胡麻豆腐を入れながら食べる辛うま!肉味噌坦々鍋(1人前1,900円)。

【レストランバー OGGI】

中区三川町10-18下井ビル5F

TEL / 082-246-0238

営業時間 / 18:00 ~ 翌2:00

(L.O. 翌1:00)

定休日 / 日曜日

